

令和8年4月20日

創立記念日を迎えて

県立社高等学校長 橋本智稔

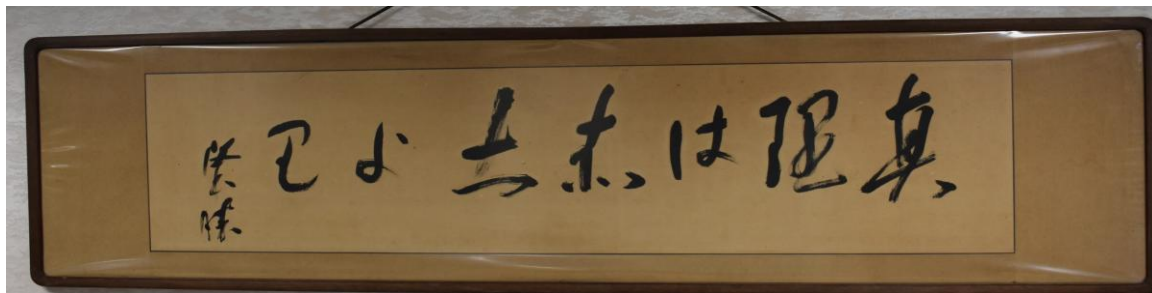
4月20日、社高校は113回目の創立記念日を迎えました。

本校は、大正2年（1913年）4月に組合立小野実科高等女学校として設立されました。翌年4月20日に開校記念式を挙行し、この日を創立記念日と定めて歴史を刻んできました。この間、25,000名を超える方々が本校を卒業され、様々な分野で活躍されています。

（沿革）

明治42年5月	小野村外三ヶ村（大部、市場、来住）組合立小野高等小学校内に小野家政女学校を設置
大正2年4月	3月に設置が許可されるとともに、小野高等小学校を廃止し、その校地、校舎、図書、機械器具等の全財産を譲り受け、組合立小野実科高等女学校として開校
大正3年4月	開校記念式を挙行
大正9年4月	加東郡立小野実科高等女学校と改称
大正10年5月	加東郡立小野高等女学校と改称
大正11年4月	兵庫県立社高等女学校と改称
昭和23年4月	兵庫県立社高等学校と改称し、男女共学となる
平成25年11月	創立百周年記念式典を挙行

昭和34年（1959年）に社簡易裁判所があるところから、現在学校がある嬉野台に移転してきました。当時の嬉野台は、一面赤土の原野でした。そして校歌の詞「高く聳ゆる我らが学び舎」にもあるように、当時では画期的な鉄筋3階建ての校舎が建てられたのです。時の阪本勝兵庫県知事が竣工式の訓示で「真理は赤土より生ず」と述べられ、阪本元知事による揮毫の扁額は今も校長室に掲げられています。



4月20日の創立記念日には、本校の歴史を振り返るとともに、伝統ある社高等学校で学ぶことの誇りと自覚を持って、日々の学習や部活動に全力で取り組みましょう。

生徒の皆さんの益々の活躍を期待し、創立記念日を迎えたいと思います。